

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月22日

計画の名称	安来市における下水道事業の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）											
交付対象	安来市											
計画の目標	浸水対策の推進により安全・安心な地域の形成を目指し浸水対策を計画的に実施する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,620	A	1,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					H29当初	H31末	H33末	
1	下水道における都市浸水対策の達成率を9.2%（H29）から31.0%（H33）に増加 浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 都市浸水対策達成率 = (概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))				9%	18%	31%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																								
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況					
		一體的に実施することにより期待される効果										H29	H30	H31	R02	R03								
		備考																						
下水道事業																	313	-						
A07-001	A07-001	下水道	一般	安来市	直接	安来市	管渠(雨水)	新設	管渠・施設整備事業(安来排水区)	雨水渠 1400×1100~1900 x 800 L=180m 处理能力 6.8m ³ /s	安来市													
	A07-002	下水道	一般	安来市	直接	安来市	管渠(雨水)	新設	管渠整備事業(浦ヶ部排水区)	雨水渠 2900×1400~1500 x 1500 L=570m	安来市						1,307	-						
																	1,620							
																	合計	1,620						

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
安来市において評価を行い確定	令和5年度
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	安来排水区において、ポンプ場及び雨水渠整備により、浸水被害の軽減が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和4年度以降も安来市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	31%
	最終実績値	32%